

船が育んだ江戸

～百万都市・江戸を築いた水運～

(1) 海 —海流・海難・海損—



2017年12月12日(火)

▶ 2018年2月17日(土)

東京海洋大学越中島キャンパス
明治丸記念館

開館日時: 毎週火・木曜、第1及び第3土曜日
10:00～15:00 ※入館は14:30まで

無料一般公開
事前申込不要

主催: 東京海洋大学附属図書館

共催: 東京海洋大学明治丸海事ミュージアム

協力: 一般社団法人ニッポニア・ニッポン、関西学院大学図書館、船の科学館、千葉県立関宿城博物館、早稲田大学図書館、千葉県立中央博物館、中央区立京橋図書館、中川船番所資料館、東京大学附属図書館、神戸大学海事博物館、東京都立中央図書館、横浜みなと博物館、湖西市教育委員会、川崎汽船株式会社、中津川市・村上医家資料館、日本海事広報協会、株式会社浅井市川海損精算所、公益社団法人日本海難防止協会(順不同)

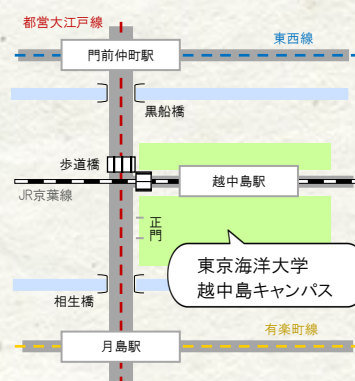
問い合わせ

東京海洋大学附属図書館 情報サービス第二係
〒135-8533 東京都江東区越中島2-1-6
電話: 03-5245-7362 FAX: 03-5245-7334
Email: jo-joho2@o.kaiyodai.ac.jp
図書館HP: <http://lib.s.kaiyodai.ac.jp/>

交通案内

- ・JR京葉線・武蔵野線越中島駅 徒歩2分
- ・地下鉄東西線/大江戸線門前仲町駅 徒歩10分
- ・地下鉄有楽町線/大江戸線月島駅 徒歩10分

明治丸記念館は正門から入り、明治丸の右手です



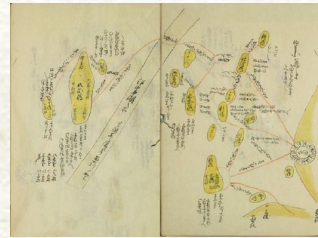
企画展示「船が育んだ江戸」 (1) 海

1 廻船航路開発がもたらした「江戸の発展」



和船模型(菱垣廻船)
製造年月日不詳
(東京海洋大学明治丸海事ミュージアム所蔵)

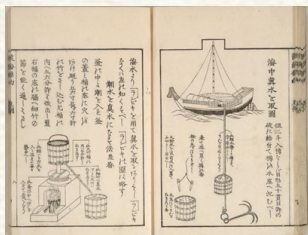
2 海洋学から見た「海流」



伊豆国嶋絵図『柳営秘鑑』
巻之八
(早稲田大学図書館所蔵)

絵図で八丈嶋と御蔵嶋の間に黒潮の流路を描いたものと思われる。黒潮の流路を描いた現存最古の文献と考えられている。

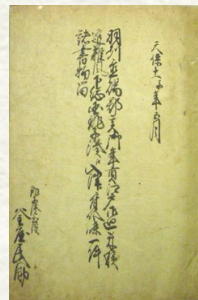
3 操船学からみた「海難」



渡海標的
石黒信由著 天保7年(1836)
(東京海洋大学附属図書館所蔵)

江戸時代の和算家、測量家、天文家である石黒信由(1760-1836)が著した航海術の書。船中において真水を作るランピキ(蘭引)などが紹介されている。

4 海法学からみた「共同海損」



羽州置賜郡亥御年貢江戸御廻米積逢難風下総国銚子湊江入津二付吟味一件 諸書物留
作成年:天保11年(1840)
作成:銚子湊出役釜屋民助
(東京海洋大学附属図書館所蔵)

江戸時代の御城米船の海難、そしてその処理のあり様を知る貴重な記録である。

講演会「船が育んだ江戸」 (1)「海」—海流・海難・海損—

日時 2018年2月10日(土) 13:00~15:30

会場 東京海洋大学越中島会館 2階講堂

企画展示「船が育んだ江戸」では、水運の視点から、百万都市江戸の誕生と成長の姿を追いかけてみたいと思います。第1回のテーマ「海」では、航路開発、海流、操船、海損について、江戸時代の実態と現代にも活かされている知恵と工夫をお話します。

プログラム

司会:岩本 勝美(明治丸海事ミュージアム館長)

- 12:30 開場
- 13:00 開会挨拶:佐藤 秀一(東京海洋大学附属図書館長)
- 13:15 講演Ⅰ「廻船航路開発がもたらした『江戸の発展』」
苦瀬 博仁(東京海洋大学名誉教授)
- 13:45 講演Ⅱ「海洋学から見た『海流』」
岩坂 直人(東京海洋大学附属図書館越中島分館長)
- 14:15 休憩
- 14:30 講演Ⅲ「操船学からみた『海難』」
大貫 伸(日本海難防止協会研究統括本部部长)
- 15:00 講演Ⅳ「海法学からみた『共同海損』」
金岡 京子(東京海洋大学教授)
- 15:30 閉会挨拶:岩坂 直人(東京海洋大学附属図書館越中島分館長)
- 15:45 講演者による展示解説(展示会場にて、参加自由)
- 16:30 展示会場閉館

アクセス

正門から…明治丸のある広場へ向かい、そのまま道なりにまっすぐ進みます。小さなドームと赤い屋根が目印です。

裏門から…入って目の前にあります。

